



マングローブ (西表島)

1 八重山と先島

昨年秋の学会で 38 年ぶりに沖縄を再訪したのですが、私が初めて沖縄を訪れたのは大学 2 年の春休みでした。その時は沖縄本島には飛行機の乗り継ぎで立ち寄っただけであり、那覇空港から南西航空（当時）の小さなプロペラ機に乗り換えて八重山諸島へ向かったのです。

「沖縄には近いうちまた来る機会があるだろう…」とと思っているうちに 40 年近くも経ってしまったのですから、年も取るはずです。時の流れをしみじみと実感した今回の沖縄旅行でした。

沖縄といえば、最近「八重山」という言葉をあまり聞かなくなりましたが、何か理由でもあるのでしょうか？ 天気予報でも「先島（さきしま）諸島」という名前は出てきますが、「八重山諸島」とは言いません。気になって調べてみると、宮古諸島（宮古島、伊良部島など）、八重山諸島（石垣島、西表島など）、尖閣諸島（魚釣島など）を全部合わせて先島諸島と呼ぶのだそうです。昭和生まれの中高年としては「先島」よりも「八重山」の方が耳に馴染んで“いかにも沖縄”という語感なのですが、これは昭和世代の単なるノスタルジーなのかもしれませんね。

学生時代には沖縄以外にも中国・四国・九州などを旅行したのですが、なぜこの地方かという大学同期の友人達にお世話になりながら（というか利用しながら）旅行するためでした。広島（呉）・宮崎（小林）・福岡（久留米）などの友人宅に図々しくも連泊して美味しい食事までご馳走になったのですから、今思うと本当に恥ずかしい限りです。友人とそのご家族のおかげで楽しい旅の思い出が沢山できて、お世話になった皆さんには改めて感謝の言葉しかありません。

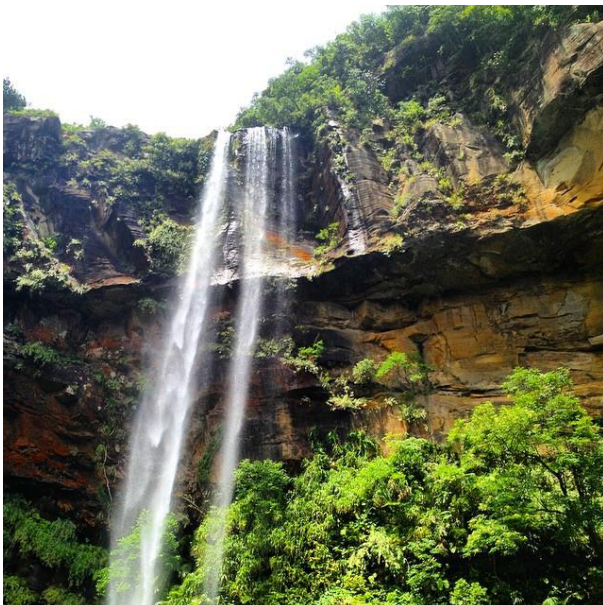


ピナイサーラの滝（西表島）

2 ピナイサーラの滝

最初の沖縄旅行では、石垣島→竹富島→西表島という「島めぐり」をしました。赤瓦の屋根やシーサー（魔除けの獅子）、白砂の小路など「沖縄の原風景」が残されている竹富島も良かったのですが、特に思い出深いのは西表島の圧倒的な自然とそこで出会った人たちでした。西表島は島の約90%が亜熱帯のジャングルで覆われており、「東洋のガラパゴス」とも言われ、マングローブの林が有名です。島を縦走するツアーに参加したり、民宿のお兄さんから与那国の泡盛「どなん」（アルコール度数は日本最高の60度）をさんざん飲まされましたが、今でも思い出すのは沖縄最大の落差（54 m）を誇る「ピナイサーラの滝」探検です。「ピナイサーラ」とは「ひげのように下がったもの」という意味であり、滝の上からは眼下に広がる西表の原始林と川と海が一望でき、まさに息をのむ絶景でした。

滝と言えば「華嚴の滝」から「ナイアガラの滝」まで、これまで国内外で多くの滝を観てきましたが、私は規模の大きさより「小さくても凛（りん）とした名もなき滝」が好きです。その意味ではこの「ピナイサーラの滝」は自然そのままの姿なのであまり有名になってほしくないのですが、今では観光名所として各種のツアーもあるようで、少し残念な気がします。



ピナイサーラの滝（西表島）



斎場御嶽（せいふあーうたき）

3 斎場御嶽（せいふあーうたき）

今回の旅行では学会の合間を利用して、沖縄最大のパワースポットといわれる斎場御嶽を訪れました。御嶽（うたき）とは沖縄各地に分布している聖地の総称であり、斎場御嶽は其中最も神聖な（格式の高い）場所といわれ世界遺産にも登録されています。深い森の中には6カ所の拝所（ウガンジュ）が点在しており、中でも有名なのが三庫裏（サングーイ）と呼ばれる場所です。そこは2つの巨石が三角形の同門を形成しており、奥の石段を登ると「神の島」と言われる久高島を望むことができました。



拝所（ウガンジュ）



三庫裏（サンゲーイ）

私にはパワースポットで“霊を感知した”とか“波動を感じた”というような体験はありませんが、この独特の地形と漂う雰囲気から、この場所が地元の人々にとって「特別な聖なる空間」であり「神聖な祈りの場」であったことが良くわかりました。



海カフェ

4 海カフェにて

斎場御嶽の帰りに近くの海カフェに立ち寄ったのですが、民家を改造したそのカフェは広々とした芝生と目の前に広がる青い海がとても美しく、自家製ハーブティーを飲みながらいつまでも海を眺めて贅沢な沖縄時間を満喫することができました。

最近では猫カフェや犬カフェなどいろんなカフェがありますが、「喫茶店」とどう違うのかよくわかりません。「おしゃれで今風の雰囲気のある喫茶店」をカフェと呼ぶのだろうと思っていたのですが、気になって調べてみると次のような違いがありました。

	カフェ	喫茶店
営業許可	飲食店営業	喫茶店営業
アルコールの提供	できる	できない
食事の提供	食事全般	茶菓のみ

食品衛生法施行令第 35 条（営業の指定）

ただし、名古屋の有名喫茶店のようにしっかり食事を提供している店は実際にあり、この場合は「飲食店営業許可」を得た上であえて「喫茶店」と名乗って営業しているようです。つまり、法的な営業形態と店の名前は関係ないのですね。いやー、知りませんでした。

それはともかく、原始の森から大量のマイナスイオンと聖なるパワーをもらった後で、開放感たっぷりの素敵な海カフェで心の充電をすることができ、森と海の2つの自然エネルギーを十分に体感できた今回の沖縄旅行でした。



海カフェ